

令和元年度

青森県高等学校体育連盟スケート専門部総会資料



次 第

0	出席者確認（自己紹介）		
1	開 会		
2	専門部長あいさつ		
3	議 事	専門部長	
	[報告事項]		
	(1) 平成30年度事業報告	専門委員長	P 2～3
	(2) 平成30年度監査報告	監査委員	
	(3) 平成30年度収支決算報告	会 計	P 4～6
	[役員改選]	専門委員長	P 7
	[審議事項]		
	(1) 令和元年度事業計画案	各競技委員長	P 8～9
	(2) 令和元年度収支予算案	専門委員長	P10～11
	(3) 規約審議	専門委員長	P12
	(4) 県高体連スケート専門部表彰者推薦	専門委員長	
	(5) (公財)全国高体連スケート専門部表彰者推薦	専門委員長	P13～15
	[その他]		
	(1) 高総体・新人戦について	専門委員長	P16～18
	(2) 平成30年度アイスホッケーインターハイについて	H競技委員長	
	(3) 令和3年度インターハイについて	専門委員長	P19
	(4) その他		
6	閉 会		

日 時 令和元年5月29日(水) 15:30

場 所 八戸西高等学校「会議室」

青森県高等学校体育連盟スケート専門部

# 令和元年度青森県高体連スケート専門部名簿

役職 または 学校名	氏 名	学校名 または 部門	総会 出欠
部 長	米内山 裕	八戸西高校 (校長)	○
副部長	山 口 吉 彦	八戸高校 (教頭)	×
八戸高校	尾 形 洋 紀	S	○
	宮 川 友貴枝	F	×
	上 村 大 和	H	○
	大 淵 さくら	H	×
八戸西高校	尾 崎 光 男	S	○
	山 口 衛	S	○
	高 橋 拓 克	S	○
	工 藤 淳	F	×
八戸水産高校	村 崎 匡 利	S	○
八戸工業高校	白 鳥 洋	H	○
	三 浦 宏 之	H	×
	嶋 守 敏 崇	H	×
八戸商業高校	神 山 正 義	H	○
	田 中 千 智	H	×
	畠 山 行 雄	監査委員	
百石高校	石 橋 幸 明	S	○
三沢高校	本 田 敦 子	F	○
三沢商業高校	田 中 重 明	F	×
	藤ヶ森 誠 司	監査委員	
八戸学院光星高校	清 水 利 憲	S	○
	村 崎 匡 裕	S	×
	西 村 裕 行	H	×
	田 中 敏 則	H	○
八戸工業大学第一高校	石 藤 壽 也	H	○
	工 藤 大	H	○
	佐々木 勝 一	H	○
青森山田高校	成 田 壘	F	×
八戸工業高等専門学校	河 村 信 治	S	○
			17

## I 平成30年度事業報告【会議関係】

4/12	県高体連第1回理事会	青森市「社会教育センター」	尾崎
4/24	県高体連第1回委員長会議	青森市「青森西高校」	尾崎
4/24	県体協競技力向上事業説明会	青森市「アピオあおもり」	尾崎
5/30	スケート専門部総会	八戸市「八戸西高校」	
8/23～24	全国高体連スケート専門部常任委員会・第1回委員会	東京都国立オリンピック記念 青少年総合センター	米内山 尾崎 上村 本田
9/25	県高体連第2回理事会	青森市「社会教育センター」	尾崎
11/21	スケート専門部高校総体各校代表者会議	八戸市「八戸西高校」	
12/4	県高体連第3回理事会	青森市「社会教育センター」	
12/17	スケート専門部インターハイ出場校代表者会議	八戸市「八戸西高校」	
1/21		郡山市「ユラックス熱海」	米内山
1/24	全国高体連スケート専門部第2回委員会	名古屋市「ガイシアリーナ」	尾崎
1/22		八戸市「テクノルアイスパーク八戸」	上村
2/12	県高体連第3回委員長会議	青森市「社会教育センター」	尾崎
4/1	スケート専門部会計監査	八戸市「八戸西高校」	

## II 平成30年度各種大会・強化学業日程

### 1 総合競技会

#### (1) 第71回青森県高等学校スケート競技選手権大会

スピード競技	30. 12. 8(土)～30. 12. 9(日)	長根公園パビングスケートリンク
フィギュア競技	31. 1. 6(日)	テクノルアイスパーク八戸
アイスホッケー競技	30. 12. 14(金)～30. 12. 17(月)	テクノルアイスパーク八戸

#### (2) 平成30年度青森県高等学校スケート競技新人戦

スピード競技	31. 2. 9(土)～31. 2. 10(日)	長根公園パビングスケートリンク
フィギュア競技	31. 2. 11(月)	テクノルアイスパーク八戸
アイスホッケー競技	31. 2. 6(水)～31. 2. 9(土)	テクノルアイスパーク八戸

#### (3) 第30回東北高等学校スケート競技選手権大会

スピード競技	30. 12. 22(土)～30. 12. 24(月)	岩手県営スケート場
フィギュア競技	30. 11. 10(土)	みちのくココロホトリックリンク

#### (4) 第68回全国高等学校スピードスケート競技・フィギュアスケート競技・アイスホッケー競技選手権

スピード競技	31. 1. 22(火)～31. 1. 26(土)	福島県郡山市
フィギュア競技	31. 1. 24(木)～31. 1. 27(日)	愛知県名古屋市
アイスホッケー競技	31. 1. 22(火)～31. 1. 26(土)	青森県八戸市

#### (5) 第74回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

スピード競技	31. 1. 30(水)～31. 2. 3(日)	北海道釧路市
フィギュア競技	31. 1. 30(水)～31. 2. 1(金)	北海道釧路市
アイスホッケー競技	31. 1. 30(水)～31. 2. 3(日)	北海道釧路市

## 2 スピード競技

### (1) 大会日程

【県内】	青森県選抜	30.12.04(火)～05(水)	八戸市(長根)
	三浦杯	31.01.05(月)	八戸市(長根)
	青森県SP選手権	31.01.16(水)～17(木)	八戸市(長根)
	青森県AR選手権	31.02.17(日)～18(月)	八戸市(長根)
【県外】	ジャパンカップ第1戦	30.10.19(金)～21(日)	長野県長野市
	帯広の森競技会	30.11.02(金)～04(日)	北海道帯広市
	ジャパンカップ第2戦	30.11.30(金)～12.02(日)	山梨県富士吉田市
	全日本AR選手権	30.12.25(火)～26(水)	長野県長野市
	全日本SP選手権	30.12.29(土)～30(日)	長野県長野市
	全日本JR選手権	31.01.12(土)～14(月)	長野県軽井沢町
	全国高校選抜	31.02.22(金)～24(日)	北海道帯広市

### (2) 強化事業計画

合宿地	実施予定年月日	泊	日	選手	指導者	区分	備考
帯広	30・10・19～11・2	14	15	4	1	総合選手強化	氷上
帯広	30・10・19～11・5	17	18	9	1	総合選手強化	氷上
盛岡①	30・11・9～11・11	2	3	19	2	高校生強化	氷上
盛岡②	30・11・16～11・18	2	3	16	2	高校生強化	氷上
盛岡③	30・11・22～11・25	3	4	13	2	高校生強化	氷上

## 3 フィギュア競技

### (1) 大会日程(案)

【県内】	県国体予選	30.09.30(日)	八戸市(新井田)
	県選手権	31.02.24(日)	八戸市(新井田)
【県外】	東北北海道選手権	30.09.21(金)～24(月)	北海道札幌市(月寒)
	東日本選手権	30.10.25(木)～28(日)	八戸市(新井田)
	東日本ジュニア選手権	30.10.25(木)～28(日)	八戸市(新井田)
	全日本ジュニア選手権	30.11.22(木)～25(日)	福岡県福岡市
	全日本選手権	30.12.19(水)～23(日)	大阪府

### (2) 強化事業計画(案)

合宿地	実施予定年月日	泊	日	選手	指導者	区分	備考
盛岡	30・7・26～8・4	9	10			総合選手強化	八戸FSC
三沢	30・8・3～8・11	8	9	3	1	高校生強化	GOLD
ふくち	30・12・29～12・31	2	3			総合選手強化	GOLD
ふくち	31・1・3～1・6	3	4			総合選手強化	八戸FSC

## 4 アイスホッケー競技

### (1) 大会日程(案)

【県内】	春季大会	30.04.18(水)～28(金)	八戸市(TIP八戸)
	秋季大会	30.09.04(火)～08(土)	八戸市(TIP八戸)
	国体予選(少年の部)	30.10.12(金)～24(水)	八戸市(TIP八戸)
【県外】	全国高校選抜	30.08.01(水)～05(日)	北海道苫小牧市
	全国私立高校選抜	30.09.15(土)～17(月)	八戸市(TIP八戸・田名部)
	東北総体(国体ブロック予選)	30.12.01(土)～02(日)	宮城県大和町

### (2) 強化事業計画(案)

合宿地	実施予定年月日	泊	日	選手	指導者	区分	備考
釧路	30・10・4～10・9	5	6	27	4	高校生強化	指定校(八工大一高)
ロシア	30・11・20～11・26	6	7	22	3	総合選手強化	

県選抜夏季強化練習試合(8月)

東北大会前選抜強化練習(11月)

国体前選抜強化・調整練習(1月)

平成30年度 一般会計収支決算書

青森県高体連スケート専門部

(単位：円、増減の△は不足)

1. 収入の部

項目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	増減△	備考
繰越金	549,132	549,132	0	29年度繰越金
運営費補助	300,000	300,000	0	高体連から 専門部費 50,000 総体委託費 250,000
強化費	200,000	200,000	0	高体連から
参加料	859,000	829,000	△30,000	春季大会 (IH) 175,000 秋季大会 (IH) 175,000 高校総体 IH 175,000 SP 60,000 F 15,000 新人戦 IH 175,000 SP 42,000 F 12,000
負担金	470,000	370,000	△100,000	年度負担金 (@10,000) 170,000 ｽﾍﾞｰﾄﾞ・ﾌﾞﾗｲﾄﾞ 17枚 ﾌﾞﾗｲﾄﾞ 5枚 春季大会負担金 (IH@20,000) 100,000 秋季大会負担金 (IH@20,000) 100,000
雑収入	101,868	101,099	△769	利息 7 その他 (通帳整理による繰入金) 101,092
合計	2,480,000	2,349,231	△130,769	

2. 支出の部

(単位：円、増減の△は超過)

項目	平成30年度予算額	平成30年度決算額	増減△	備考
消耗品費	20,000	0	20,000	事務用品等
会議費	20,000	0	20,000	会計監査
通信費	20,000	9,871	10,129	切手・郵送料・振り込み手数料
印刷費	20,000	5,400	14,600	
大会補助費	450,000	405,465	44,535	競技役員日当、審判料、食糧代・茶菓子代等 春季大会 (IH) 100,000 秋季大会 (IH) 60,000 高校総体 131,447 新人戦 114,018
強化費	200,000	200,000	0	特別会計強化費積立金に繰り出し
旅費	225,000	186,800	38,200	全国高体連会議 (3名 委員長・上村・本田) 県体協・高体連等会議 (委員長他)
連盟負担金	30,000	30,000	0	青森県スケート連盟負担金
褒賞費	50,000	39,528	10,472	新人戦賞状代等 0
会場費	900,000	665,790	234,210	春季大会 (IH) 273,000 秋季大会 (IH) 136,625 高校総体 148,080 新人戦 108,085
予備費	545,000	0	545,000	
合計	2,480,000	1,542,854	937,146	

平成30年度総収入額	平成30年度総支出額	差引残高
2,349,231	1,542,854	806,377

平成31年 4月 1日

上記の通り相違ありません。

上記の通り相違ないことを認めます。

会計

監査委員

監査委員

山口 出

藤ヶ森 誠司

富山 行雄

# 平成30年度特別会計収支決算書

## 1 全国大会準備金

収入総額	695,491
支出総額	12,320
収支残額	683,171

残額は次年度に繰り越し

### 収入の部

増減の△は不足額

科目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	683,165	683,165	0	平成29年度繰越金 683,165
繰入金	60,000	12,320	△ 47,680	インターハイ実施本部より 12,320
雑収入	0	6	6	
合計	743,165	695,491	△ 47,674	

### 支出の部

増減の△は超過額

科目	予算額	決算額	増減	摘要
旅費	0	0	0	
会議費	20,000	0	△ 20,000	
褒賞費	15,500	12,320	△ 3,180	スローガン等表彰(立替) 12,320
印刷費	0	0	0	
通信費	20,000	0	△ 20,000	
消耗品費	0	0	0	
工事費	0	0	0	
雑費	4,500	0	△ 4,500	
合計	60,000	12,320	△ 47,680	

平成31年 4月 1日

上記の通り相違ありません。

会計 山口



上記の通り相違ないことを認めます。

監査委員

藤ヶ森 誠司 (印)  
 畠山 行雄 (印)

# 平成30年度特別会計収支決算書

## 2 強化費

収入総額	2,268,476	
支出総額	500,000	
収支残額	1,768,476	残額は次年度に繰り越し

### 収入の部

増減の△は不足額

科目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	2,068,460	2,068,460	0	平成29年度繰越金 2,068,460
高体連強化費	200,000	200,000	0	一般会計から 200,000
繰入金	0	0	0	0
雑収入	0	16	16	利息 16
合計	2,268,460	2,268,476	16	

### 支出の部

増減の△は超過額

科目	予算額	決算額	増減	摘要
各競技分配金	500,000	500,000	0	スピード 150,000 フィギュア 50,000 アイスホッケー 300,000
雑費	0	0	0	0
合計	500,000	500,000	0	

平成 31年 4月 1日

上記の通り相違ありません。

会計 山口 衛

上記の通り相違ないことを認めます。

監査委員

藤ヶ森 誠司 (藤ヶ森)  
島山 行雄 (島山)

平成30年度青森県高体連スケート専門部役員

役 職		氏 名	学校名	備 考
部 長 (兼 全国専門部副部長)		米内山 裕	八 戸 西	校 長
副 部 長		三 上 浩一郎	八 戸	教 頭
		佐々木 則 次	八戸工業	
委 員 長	兼スピード競技委員長	尾 崎 光 男	八 戸 西	全国代表委員 (スピード)
副委員長	兼フィギュア競技委員長	本 田 敦 子	三 沢	全国代表委員 (フィギュア)
	兼アイスホッケー競技委員長	上 村 大 和	八戸工業	全国代表委員 (アイスホッケー)
監査委員		畠 山 行 雄	八戸商業	
		藤ヶ森 誠 司	三沢商業	
庶務会計	統 括	山 口 衛	八 戸 西	
	スピード担当	尾 崎 光 男	八 戸 西	
	フィギュア担当	尾 崎 光 男	八 戸 西	
	アイスホッケー担当	山之内 悠	八戸商業	

令和元年度～2年度 青森県高体連スケート専門部役員 (案)

役 職		氏 名	学校名	備 考
部 長		米内山 裕	八 戸 西	校 長
副 部 長		山 口 吉 彦	八 戸	教 頭
委 員 長	兼スピード競技委員長	尾 崎 光 男	八 戸 西	全国代表委員 (スピード)
副委員長	兼フィギュア競技委員長	本 田 敦 子	三 沢	全国代表委員 (フィギュア)
	兼アイスホッケー競技委員長	上 村 大 和	八 戸	全国代表委員 (アイスホッケー)
監査委員		畠 山 行 雄	八戸商業	
		藤ヶ森 誠 司	三沢商業	
庶務会計	統 括	山 口 衛	八 戸 西	
	スピード担当	尾 崎 光 男	八 戸 西	
	フィギュア担当	尾 崎 光 男	八 戸 西	
	アイスホッケー担当			



## I 令和元年度事業計画【会議関係】(案)

4/23	県高体連第1回委員長会議	青森市「青森西高校」
4/23	県体協競技力向上事業説明会	青森市「アピオあおもり」
5/21	県高体連第2回委員長会議	青森市「社会教育センター」
5/29	スケート専門部総会	八戸市「八戸西高校」
8/22～23	全国高体連スケート専門部常任委員会・第1回委員会	東京都国立オリンピック記念 青少年総合センター
9/24	県高体連第2回理事会 スケート専門部高校総体各校代表者会議	青森市「社会教育センター」
12/3	県高体連第3回理事会	青森市「社会教育センター」
12/中旬	スケート専門部インターハイ出場校代表者会議	八戸市「八戸西高校」
1/21	全国高体連スケート専門部第2回委員会	帯広市
2/11	県高体連第3回委員長会議	青森市「社会教育センター」
3/30	スケート専門部会計監査	八戸市「八戸西高校」

## II 令和元年度各種大会・強化事業日程(案)

### 1 総合競技会

- (1) 第72回青森県高等学校スケート競技選手権大会
- |           |                           |             |
|-----------|---------------------------|-------------|
| スピード競技    | 元. 11. 30(土)～元. 12. 1(日)  | YSアリーナ八戸    |
| フィギュア競技   | 元. 11. 10(日)              | テクルアイスパーク八戸 |
| アイスホッケー競技 | 元. 12. 13(金)～元. 12. 16(月) | テクルアイスパーク八戸 |
- (2) 令和元年度青森県高等学校スケート競技新人戦
- |           |                       |             |
|-----------|-----------------------|-------------|
| スピード競技    | 2. 2. 8(土)～2. 2. 9(日) | YSアリーナ八戸    |
| フィギュア競技   | 2. 2. 8(土)            | テクルアイスパーク八戸 |
| アイスホッケー競技 | 2. 2. 5(水)～2. 2. 8(土) | テクルアイスパーク八戸 |
- (3) 第31回東北高等学校スケート競技選手権大会
- |         |                           |        |
|---------|---------------------------|--------|
| スピード競技  | 元. 12. 20(金)～元. 12. 22(日) | 山形県山形市 |
| フィギュア競技 | 元. 11. 23(土)              | 宮城県大和町 |
- (4) 第69回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
- |           |                         |        |
|-----------|-------------------------|--------|
| スピード競技    | 2. 1. 22(水)～2. 1. 26(日) | 北海道帯広市 |
| フィギュア競技   | 2. 1. 22(水)～2. 1. 26(日) | 北海道帯広市 |
| アイスホッケー競技 | 2. 1. 22(水)～2. 1. 26(日) | 北海道帯広市 |
- (5) 第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会
- |            |                         |        |
|------------|-------------------------|--------|
| スピード競技     | 2. 1. 29(水)～2. 2. 2(日)  | 青森県八戸市 |
| フィギュア競技    | 2. 1. 29(水)～2. 1. 31(金) | 青森県三沢市 |
| ショートトラック競技 | 2. 2. 1(土)～2. 2. 2(日)   | 青森県三沢市 |
| アイスホッケー競技  | 2. 1. 29(水)～2. 2. 2(日)  | 青森県八戸市 |

## 2 スピード競技

### (1) 大会日程(案)

【県内】	青森県選抜	元. 11. 03(日)~04(月)	YSアリーナ八戸
	青森県AR・SP選手権	元. 12. 14(土)~15(日)	YSアリーナ八戸
	東北SD競技会	元. 12. 28(土)~29(日)	YSアリーナ八戸
	三浦杯	02. 01. 04(土)	YSアリーナ八戸
【県外】	十勝オーバル競技会	元. 09. 14(土)~16(月)	北海道帯広市
	全日本SD選手権	元. 10. 25(金)~27(日)	長野県長野市
	帯広の森競技会	元. 11. 08(金)~10(日)	北海道帯広市
	ジャパンカップ第1戦	元. 11. 15(金)~17(日)	長野県長野市
	ジャパンカップ第2戦	元. 11. 22(金)~24(日)	岩手県盛岡市
	ジャパンカップ第3戦	元. 12. 06(金)~08(日)	岐阜県恵那市
	全日本AR・SP選手権	元. 12. 26(木)~29(日)	長野県長野市
	全日本JR選手権	02. 01. 10(金)~12(日)	長野県軽井沢町
	全国高校選抜	02. 02. 21(金)~23(日)	北海道帯広市

### (2) 強化事業計画(案)

合宿地	実施予定年月日	泊	日	選手	指導者	区分	備考
帯広	元・9・5～9・17	12	13	14	2	総合選手強化	氷上(オーバル競技会)
軽井沢	2・1・6～1・12	6	7	10	2	高校生強化	氷上(全日本ジュニア)

## 3 フィギュア競技

### (1) 大会日程(案)

【県内】	県国体予選	元. 09. 23(月)	テクノアイスパーク八戸
	県選手権	02. 01. 11(土)	テクノアイスパーク八戸
【県外】	東北北海道選手権	元. 09. 20(金)~23(月)	青森県八戸市
	東日本選手権	元. 10. 24(木)~27(日)	長野県軽井沢町
	東日本ジュニア選手権	元. 10. 24(木)~27(日)	長野県軽井沢町
	全日本ジュニア選手権	元. 11. 15(金)~17(日)	神奈川県横浜市
	全日本選手権	元. 12. 18(水)~22(日)	未定
	北日本選手権	02. 03. 26(木)~29(日)	青森県三沢市

### (2) 強化事業計画(案)

合宿地	実施予定年月日	泊	日	選手	指導者	区分	備考
三沢	元・8・1～8・11	10	11	3	1	高校生強化	GOLD
盛岡	元・8・2～8・8	6	7	8	2	総合選手強化	八戸FSC(高校生以外含む)
盛岡	元・8・13～8・22	9	10	8	2	総合選手強化	八戸FSC(高校生以外含む)
ふくち	元・12・29～12・31	2	3	5	2	総合選手強化	GOLD(高校生以外含む)

## 4 アイスホッケー競技

### (1) 大会日程(案)

【県内】	春季大会	31. 04. 16(火)~25(木)	テクノアイスパーク八戸
	秋季大会	元. 09. 03(火)~07(土)	テクノアイスパーク八戸
	国体予選(少年の部)	元. 10. 10(木)~19(土)	テクノアイスパーク八戸
【県外】	全国高校選抜	元. 07. 30(火)~08. 04(日)	北海道苫小牧市
	全国私立高校選抜	元. 09. 14(土)~16(月)	青森県八戸市
	東北総体(国体ブロック予選)	元. 11. 30(土)~12. 01(日)	山形県山形市

### (2) 強化事業計画(案)

合宿地	実施予定年月日	泊	日	選手	指導者	区分	備考
釧路	元・10・10～10・15	5	6	22	1	高校生強化	指定校(八工大一高)
ロシア	元・11・22～11・27	5	6	22	3	総合選手強化	

県選抜夏季強化練習試合(8月)  
東北大会前選抜強化練習(11月)  
国体前選抜強化・調整練習(1月)

## 令和元年度 一般会計収支予算書（案）

### 1. 収入の部

青森県高体連スケート専門部

項 目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	令和元年度 予算額	増 減 Δ	備 考
繰越金	549,132	549,132	806,377	257,245	30年度末残高806,377
運営費補助	300,000	300,000	300,000	0	高体連(専門部運営費50,000) 高体連(総体委託費250,000)
強化費	200,000	200,000	200,000	0	高体連(強化費200,000)
参加料	859,000	829,000	805,000	Δ 54,000	春季大会 H 35,000×5 秋季大会 H 35,000×5 高校総体 SF 3,000×(15+7) H 35,000×5 新人戦 SF 3,000×(9+4) H 35,000×5
負担金	470,000	370,000	340,000	Δ 130,000	年度負担金 S・F: 10,000×9 IH: 10,000×5 春季大会負担金 H 20,000×5 秋季大会負担金 H 20,000×5
雑収入	101,868	101,099	23	Δ 101,845	利息等
合 計	2,480,000	2,349,231	2,451,400	Δ 28,600	

### 2. 支出の部

項 目	平成30年度 予算額	平成30年度 決算額	令和元年度 予算額	増 減 Δ	備 考
消耗品費	20,000	0	20,000	0	事務用品
会議費	20,000	0	20,000	0	
通信費	20,000	9,871	20,000	0	切手・送料・振込手数料
印刷費	20,000	5,400	20,000	0	名刺印刷、プログラム等印刷用紙、賞状印刷インク
大会補助費	450,000	405,465	412,000	Δ 38,000	競技役員日当・食糧代等 春季 100,000 秋季 50,000 高校総体 S40,000+F40,000+H50,000 新人戦 S50,000+F32,000+H50,000
強化費	200,000	200,000	200,000	0	専門部特別会計へ
旅 費	225,000	186,800	140,100	Δ 84,900	全国代表委員会議(代表委員3名@46,700)
連盟負担金	30,000	30,000	30,000	0	青森県スケート連盟負担金
褒賞費	50,000	39,528	50,000	0	新人戦賞状、感謝状
会場費	900,000	665,790	815,000	Δ 85,000	春季大会 30,000×10試合 秋季大会 30,000×5試合 高校総体 S50,000+F15,000+H30,000×5試合 新人戦 H30,000×5試合
予備費	545,000	0	724,300	179,300	
合 計	2,480,000	1,542,854	2,451,400	Δ 28,600	

## 令和元年度 特別会計収支予算書 (案)

収入総額	2,651,650
支出総額	600,000
収支残額	2,051,650

残額は次年度に繰り越し

### 収入の部

増減の△は減額

項目	前年度予算額	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
繰越金	683,165	683,165	2,451,647	△ 299,978	全国大会準備金から 683,171
	2,068,460	2,068,460			強化費から 1,768,476
高体連強化費	200,000	200,000	200,000	0	一般会計から 200,000
繰入金	60,000	12,320	0	△ 60,000	
雑収入	0	6	3	3	預金利息など
	0	16			
合計	3,011,625	2,963,951	2,651,650	△ 359,975	

### 支出の部

増減の△は減額

項目	前年度予算額	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
全国大会	旅費	0	100,000	100,000	
	会議費	20,000	0	0	△ 20,000
	褒章費	15,500	12,320	0	△ 15,500
	印刷費	0	0	0	0
	通信費	20,000	0	0	△ 20,000
	消耗品費	0	0	0	0
強化	工事費	0	0	0	
	各競技分配金	500,000	500,000	500,000	0
					スピード 150,000
					フィギュア 50,000
					アイスホッケー 300,000
	4,500	0	0	△ 4,500	振込手数料
合計	560,000	512,320	600,000	40,000	

## 平成31年度 (公財) 青森県スポーツ協会高校生強化事業費 収支予算書 (案)

収入総額	1,883,000
支出総額	1,883,000
収支残額	0

### 収入の部

増減の△は減額

項目	前年度予算額	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
補助金	1,698,000	1,698,000	1,883,000	185,000	スピード競技 876,000 フィギュア競技 296,000 アイスホッケー競技 711,000 (アイスホッケーは指定校)
合計	1,698,000	1,698,000	1,883,000	185,000	

### 支出の部

増減の△は減額

項目	前年度予算額	前年度決算額	本年度予算額	増減	摘要
強化事業費	1,698,000	1,698,000	1,883,000	185,000	スピード競技 876,000 軽井沢合宿 フィギュア競技 296,000 三沢合宿 アイスホッケー競技 711,000 釧路合宿
返納	0	0	0	0	スピード競技 0 フィギュア競技 0 アイスホッケー競技 0
雑費	0	0	0	0	
合計	1,698,000	1,698,000	1,883,000	185,000	

# 青森県高等学校体育連盟スケート専門部規約

## 第1章 名称及び事務局

- 第1条 本専門部は名称を青森県高等学校体育連盟スケート専門部と称する。  
第2条 本専門部の事務局を部長指定の場所に置く。

## 第2章 目的

- 第3条 本専門部は関係競技団体と提携し、青森県高校スケートの健全な普及発展を図ることを目的とする。

## 第3章 事業

- 第4条 本専門部は前条の目的を達成するために次の事業を行う。  
(1) 競技会の開催及び奨励。  
(2) その他の本専門部の目的達成に必要な事業。

## 第4章 組織

- 第5条 本専門部は青森県高体連スケート専門部に加盟している各校顧問及び、監査委員、庶務会計係をもって組織する。

## 第5章 役員

- 第6条 本専門部には次の役員を置く。  
(1) 部長1名(校長職)、副部長若干名  
(2) 委員長1名、副委員長若干名  
(3) スピード、アイスホッケー、フィギュアの各部門に競技委員長、また必要に応じて副競技委員長を置く。  
(4) 監査委員、庶務会計若干名  
第7条 役員については学校教育法第50条第1項に規定する校長、教頭、教諭、臨時講師の職にあるものがあたる。  
第8条 役員の任期は2カ年とする。但し再任を妨げない。補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。  
第9条 部長は総会において推挙し、その他の役員については総会において選出する。

## 第6章 会議

- 第10条 本専門部には次の会議を置く。  
(1) 総会  
(2) 各校顧問代表者会議  
(3) 各部門委員会  
第11条 総会は毎年1回部長が招集し、予算案及び事業案を審議する。  
第12条 各校顧問代表者会議並びに部門委員会は、必要に応じて部長及び各部門の競技委員長が招集し、必要事項について審議する。

## 第7章 経費

- 第13条 本専門部の経費は加盟校の負担金並びに参加料等を以てこれに充てる。  
第14条 当該年度の会計は監査委員の監査を受け総会において承認を得るものとする。

## 第8章 表彰

- 第15条 本専門部において過去10年間顧問として指導されたものを表彰する。  
~~また、役員(専門部部長)を退任された場合は退職時に感謝状を贈呈する。~~

### 附 則

- 1 本規定は平成14年5月の総会で審議に付し、以後施行する。
- 2 本専門部の設立年月日は昭和22年4月1日とする。
- 3 平成28年6月1日一部改正。
- 4 令和元年5月29日一部改正。

# (公財) 全国高等学校体育連盟スケート専門部規約

## 第1章 名称及び事務局

第1条 本専門部は(公財)全国高等学校体育連盟スケート専門部(以下専門部)と称する。

第2条 専門部の本部は部長の在任校に置き、事務局は常任委員長の在任校に置く。

## 第2章 目的

第3条 本専門部は(公財)全国高等学校体育連盟(以下全国高体連)寄付行為に基づき、高等学校に係わるスケート競技・アイスホッケー競技活動の振興を図り、日本スケート連盟及び日本アイスホッケー連盟と提携し、もって高等学校生徒の健全な発達を図ることを目的とする。

## 第3章 事業

第4条 本専門部は第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 全国高等学校スケート大会並びにアイスホッケー大会の開催、並びにスケート及びアイスホッケーに関する事業等の審議と執行。
2. その他目的の達成に必要な事項。

## 第4章 組織

第5条 本専門部は全国高体連寄付行為第4章第15条により全国都道府県の高体連スケート専門部をもって組織する。

## 第5章 役員

第6条 本専門部に次の役員を置き、任期は2年とする。但し重任を妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

1. 顧問 若干名
2. 部長 1名
3. 副部長 若干名
4. 常任委員長 1名
5. 競技委員長 3名
6. 競技副委員長 3名
7. 総務部長 1名
8. 常任委員 若干名
9. 監事 2名

第7条 1. 本専門部に顧問を置くことができる。顧問は部長の諮問に応ずるものとする。顧問は部長・副部長・常任委員を経験し、特に功績のあったもので委員会の承認を得て部長がこれを委嘱する。但し顧問の任期は1年とする。

2. 役員については、学校教育法第50条第1項に規定する校長、教頭、教諭の職にあるものがあたる。

3. 本専門部の部長及び副部長は委員会において推薦し、全国高体連の承認を得て会長が之を委嘱する。部長は専門部を代表し会務を総括する。副部長は部長を補佐し、部長に事故のあるときはその職務を代行する。

4. 常任委員は各競技部門より選出し、部長が之を委嘱し会務を執行する。

スピード競技 2名      フィギュア競技 2名  
アイスホッケー競技 2名

5. 部長は常任委員を若干名推薦できる。

6. 常任委員長、競技委員長、総務部長は常任委員の中から選出し、委員会の承認を得て部長が之を委嘱する。常任委員長は部長・副部長を補佐し会務を総理する。競技委員長は競技に関することを統括する。総務部長は経理事務を含め、部長・副部長・常任委員長を補佐し会務を統括する。

7. 委員は各都道府県高体連スケート専門部より1名選出し、予算・決算・事業及び重要な項目を決議する。

8. 監事は委員会より選出する。

## 第6章 会 議

- 第8条 本専門部に次の会議を置く
1. 委員会
  2. 常任委員会
  3. 競技別委員会
  4. その他委員会が必要と認めた委員会
- 第9条 委員会は年2回（9月・1月）部長が招集し、次の事項について審議決定する。
1. 規約の制定及び改廃に関する事項
  2. 大会開催地の決定
  3. 大会運営の基本方針に関する事項
  4. 大会要項の決定
  5. 予算及び決算に関する事項
  6. その他の重要事項
- 第10条 常任委員会は必要に応じて部長が招集し、委員会より委託された事項または緊急に処理を要する事項を審議決定する。
- 第11条 競技委員会は必要に応じて部長が招集し、競技に関わる業務を遂行する。

## 第7章 会 計

- 第12条 本専門部の経費は、全国高体連専門部運営費及び負担金、その他を持ってあてる
- 第13条 本専門部の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第8章 付 則

1. 副部長のうち2名は、大会開催及び次回開催都道府県高体連スケート専門部長とする。
2. 常任委員の分掌業務は次のとおりとする。  
総務部（企画・庶務・運営・会計）  
競技部（スピード競技担当・フィギュア競技担当・アイスホッケー競技担当）
3. 常任委員会の議長は常任委員長が、委員会の議長は部長が行う。

### 常任委員会の構成

- ・部長・副部長・常任委員長・競技委員長・競技副委員長
- 総務部長・常任委員・監事

### 委員会の構成

- ・常任委員会構成メンバー・各都道府県スケート専門部委員長

監事 2名（委員から選出）

- 付 則 本規程は平成14年9月 5日より施行する
- 平成19年9月 7日 一部改正（競技部長→競技委員長）
  - 平成24年9月 7日 一部改正（公益財団法人化に伴う名称の一部変更）

## (公財) 全国高等学校体育連盟スケート専門部功労者表彰規程

- 第1条 (公財)全国高等学校体育連盟スケート専門部(以下「全国高体連スケート専門部」)は、全国高体連スケート専門部の発展・振興及び選手強化育成に寄与した者の功績と、その労をたたえることを目的として定めるものである。
- 第2条 前項の目的を達成するために表彰委員会を設ける。
- 第3条 表彰委員会は、全国高体連スケート専門部長・副部長・各部門委員長・事務局長及び部長が任命した代表委員を併せて構成する。
- 第4条 部長は表彰委員会を代表し、会議を統括する。副部長は部長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第5条 表彰委員会は、都道府県から内申された者について審議し、部長がこれを決定し、表彰状ならびに記念品を贈る。
- 第6条 表彰を受ける者は、次のいずれかに該当する者であること。
- 1 部長・副部長・常任委員長は1期2年以上その任に就いた者であること。
  - 2 代表専門員は3期6年以上その任に就いた者を原則とする。
  - 3 総合優勝は、通算3回以上の監督等を対象とする。
- 第7条 表彰は、表彰者の退任次年度に行う。ただし、表彰者が退職年度の場合は当年度に行う。
- 付 則 本規定は平成14年1月19日より施行する。
- 平成19年9月 7日 一部改正  
平成24年9月 7日 一部改正(公益財団法人化に伴う名称の一部変更)  
平成29年1月18日 一部改正(規定を正式名称に変更,第3条( )内を削除)

## (公財) 全国高等学校体育連盟スケート専門部分担金徴収について

(公財)全国高体連スケート専門部は、インターハイ開催都道府県に対して、運営補助金として支出する目的並びに本専門部の円滑な運営のために徴収するものである

- 1 分担金 登録者1名につき 1000円
- 2 徴収対象  
ア) 全国高等学校総合体育大会スケート競技・アイスホッケー競技に出場登録した。  
イ) 同大会の各都道府県予選会及び地区予選会に出場登録した選手。
- 3 徴収方法  
ア) 各都道府県の専門部が一括で事務局に納入する。  
イ) 専門部のない府県については、インターハイ期間中、原則として監督・代表者会議時に徴収する。
- 4 日 程 当年度 6月末日までに納入すること。
- 5 領収書 振込時の控えを領収書にあてる。



**第72回青森県高等学校総合体育大会  
スケート競技選手権大会  
実施要項（案）**

- 1 主催 青森県高等学校体育連盟
- 2 共催 青森県スケート連盟・青森県アイスホッケー連盟・青森県教育委員会・青森県高等学校長協会
- 3 後援 (公財) 青森県スポーツ協会・八戸市教育委員会
- 4 主管 青森県高等学校体育連盟スケート専門部
- 5 期日 (1) スピード競技 令和元年11月30日(土)～12月1日(日)  
(2) フィギュア競技 令和元年11月10日(土)  
(3) アイスホッケー競技 令和元年12月13日(金)～16日(月)
- 6 会場 (1) スピード競技 YSアリーナ八戸  
(2) フィギュア競技 テクノルアイスパーク八戸  
(3) アイスホッケー競技 テクノルアイスパーク八戸

7 競技方法 各競技とも学校対抗で行う。

(1) スピード競技

- イ 男子 500m・1000m・1500m・5000m・10000m・2000mリレー・チームパシュート(8周)  
女子 500m・1000m・1500m・3000m・2000mリレー・チームパシュート(6周)

とし、チームパシュートを除き全てダブルトラックレースとする。

ロ 組み合わせ、スタート順

① 組み合わせ

申込に記載された公式記録の上位から組み合わせる。

但し、同一組に同一校の選手が入らないようにする。

スタートレーンは組毎に競技委員長による責任抽選で決定する。

② スタート順は下位の組からとする。

③ 組合せ後の棄権について

組合せ後に棄権者が出た場合には、レフェリーの判断で再編成ができる。

再編成はその種目の競技開始の1時間前までに完了するものとする。

ハ 各距離の順位は各校上位3名により決定する。

入賞は各距離(リレー・パシュートを含む)6位までとする。

得点は1位6点・2位5点…以下6位1点とする。(リレー・パシュートも同様)

ニ 学校対抗順位は上記得点の合計点により決定する。

合計得点が同点の場合は、上位入賞数の多い学校を上位とする。

(2) フィギュア競技

- |                |                       |          |
|----------------|-----------------------|----------|
| イ 男子Aクラス(5級以上) | ショートプログラム (ISUジュニア課題) | 2分40秒    |
| 男子Bクラス(4級以下)   | フリースケATING (ノービースB課題) | 2分30秒    |
| 女子Aクラス(6級以上)   | ショートプログラム (ISUジュニア課題) | 2分40秒    |
| 女子Bクラス(5級)     | フリースケATING (ノービースA課題) | 3分       |
| 女子Cクラス(4級以下)   | フリースケATING (級に応じた課題)  | 課題に応じた時間 |

ロ 各クラスの滑走順は競技委員長による責任抽選で決定する。

競技順は下位のクラスからとする。

ハ 個人の順位は各校上位3名により決定する。

上位クラスを上位とし、下位クラスのその後が続く。

ニ 得点は逆点法により付与し、その合計点により決定する。

(3) アイスホッケー競技

イ トーナメント戦とする。

ロ 競技方法の詳細は別紙のとおり。

- 8 出場資格 (1) 青森県高等学校体育連盟に加盟している高等学校等に在学する生徒であること。  
 (2) 同一学校であっても、全日制・定時制はそれぞれ1校とみなす。
- 9 出場制限 (1) スピード競技は1名2距離以内(リレー・チームパシュートを除く)とする。  
 リレー登録は6名以内、チームパシュート登録は4名以内とする。  
 (2) フィギュア競技は男女各5名以内とする。  
 (3) アイスホッケー競技は各学校1チームとし、申込時には人数の制限を設けない。  
 ただし、試合当日のベンチ入り人数は22名以内とする。
- 10 表彰 (1) 各競技の総合優勝校に優勝旗を、総合3位迄に賞状を授与する。  
 (2) スピード競技は、各距離ごと6位迄に賞状を授与する。  
 (3) フィギュア競技は、男女別6位迄に賞状を授与する。
- 11 申込方法 各競技とも申込一覧表(フィギュアはコンテンツシートも)に必要な事項を記入の上、  
 データファイルを競技2週間前までに各競技委員長および専門部委員長宛にメール送信する。  
 原本及び参加料を競技初日に各競技委員長に提出する。  
 各競技委員長は競技終了1週間以内に専門部委員長まで届ける。
- 12 参加料 (1) スピード競技 1名につき3,000円  
 (2) フィギュア競技 1名につき3,000円  
 (3) アイスホッケー競技 1チーム35,000円
- 13 代表者会議 実施しない。
- 14 問合せ先 青森県高体連スケート専門部 <http://aomoriskate.ec-net.jp/kotairen/>

専門部委員長	〒039-1101 八戸市尻内町中根市14 (八戸西高校 尾崎光男) Tel 0178-27-5365 Fax 0178-27-5366 e-mail osaki-mitsuo@m04.asn.ed.jp
スピード競技委員長	青森県立八戸西高等学校 尾崎 光男 osaki-mitsuo@m04.asn.ed.jp
フィギュア競技委員長	青森県立三沢高等学校 本田 敦子 honda-atsuko@m02.asn.ed.jp
アイスホッケー競技委員長	青森県立八戸高等学校 上村 大和 uemura-yamato@m03.asn.ed.jp

令和元年度 青森県高等学校スケート競技新人戦  
大会実施要項(案)

- 1 主催 青森県高等学校体育連盟スケート専門部
- 2 共催 青森県高等学校体育連盟
- 3 後援 青森県教育委員会
- 4 主管 青森県スケート連盟
- 5 期日 (1) スピード競技 令和2年2月8日(土)～9日(日)  
(2) フィギュア競技 令和2年2月9日(日)  
(3) アイスホッケー競技 令和2年2月6日(木)～8日(土)
- 6 会場 (1) スピード競技 YSアリーナ八戸  
(2) フィギュア競技 テクノルアイスパーク八戸  
(3) アイスホッケー競技 テクノルアイスパーク八戸
- 7 競技方法 各競技とも学校対抗で行う。
  - (1) スピード競技
    - イ 男子 500M 1000M 1500M 3000M 5000M  
女子 500M 1000M 1500M 3000M
    - ロ 各距離の順位は各校上位3名により決定する。  
入賞は各距離6位までとし、1位6点・2位5点・・・以下6位1点とする。
    - ハ 総合得点が同点の場合は、上位入賞の多い学校を上位とする。
  - (2) フィギュア競技
    - イ Aクラス(6級以上) ショートプログラム (ISUジュニア課題) 2分40秒  
Bクラス(4,5級) フリースケーティング (ノービスタ課題) 3分  
Cクラス(3級) フリースケーティング (ノービスタ課題) 2分30秒  
Dクラス(2級) フリースケーティング (2級課題) 2分  
Eクラス(1級以下) フリースケーティング (初級課題) 1分
    - ロ 男女別に、学校毎上位3名に逆点法により得点を付与する。  
学校対抗順位はその合計点により決定する。  
同点の場合は、上位入賞者を有する学校を上位とする。
  - (3) アイスホッケー競技
    - イ トーナメント戦とする。
    - ロ 競技方法の詳細は別紙のとおり。
- 8 出場資格 ①青森県高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在学する1, 2学年の生徒であること。  
②同一学校であっても、全日制・定時制はそれぞれ1校とみなす。
- 9 出場制限 アイスホッケー競技は各学校1チームとし、申込時には人数の制限を設けない。  
ただし、試合当日のベンチ入り人数は22名以内とする。  
なお、単独でチームを編成できない学校が2校以上ある場合、合同チームでの参加を認める。
- 10 表彰 ①各競技総合優勝校には優勝杯、総合3位迄賞状を授与する。  
②スピード競技は、各距離別に6位迄賞状を授与する。  
③フィギュア競技は、個人6位迄賞状を授与する。
- 11 申込方法 各競技とも、申込用紙に必要事項を記入の上、下記までデータファイルをメールにて提出すること。
  - (1) スピード競技 ①〆切 1月14日(火)12:00  
②申込先 専門部委員長(八戸西 尾崎)まで  
osaki-mitsuo@m04.asn.ed.jp
  - (2) フィギュア競技 ①〆切 1月14日(火)12:00  
②申込先 専門部委員長(八戸西 尾崎)まで  
osaki-mitsuo@m04.asn.ed.jp
  - (3) アイスホッケー競技 ①〆切 1月14日(火)12:00  
②申込先 競技委員長(八戸高校 上村)まで  
uemura-yamato@m03.asn.ed.jp
- 12 参加料 スピード・フィギュア競技とも、1名につき3,000円を1月14日までに専門部委員長に届けること。  
アイスホッケー競技は1チーム35,000円を開始式当日競技委員長に納入のこと。  
競技委員長は競技会終了1週間以内に専門部委員長まで届けること
- 13 その他 (1) スピード競技は専門部でとりまとめて青森県スケート連盟主催の長根ウィンタースピードスケート競技会にエントリーし、その記録を採用する。開始式、表彰式は実施しない。  
(2) フィギュア競技は専門部でとりまとめて青森県スケート連盟主催の青森県高校生フィギュアスケート競技大会にエントリーし、その記録を採用する。開始式、表彰式は実施しない。

令和3年度全国高等学校総合体育大会  
第71回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会  
実施要項(案)

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟 青森県 青森県教育委員会 青森市 青森市教育委員会 八戸市 八戸市教育委員会 南部町 南部町教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 日本放送協会 公益財団法人青森県スポーツ協会 一般財団法人青森市体育協会 八戸市体育協会 南部町体育協会
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 青森県高等学校体育連盟 青森県スケート連盟 青森県アイスホッケー連盟

1 会 期

区 分	期 日
開 始 式	令和4年1月 日 ( ) 時～
競 技	令和4年1月 日 ( ) ～1月 日 ( )
閉 会 式	令和4年1月 日 ( ) 競技終了後

2 会 場

区 分	競技名	会 場
開 始 式	スピード競技 アイスホッケー競技	八戸市公会堂 (八戸市)
	フィギュア競技	(青森市)
競 技	スピード競技	YSアリーナ八戸 (八戸市)
	フィギュア競技	盛運輸アリーナ (青森市)
	アイスホッケー競技	フラットアリーナ (八戸市) テクノルアイスパーク八戸 (八戸市) ふくちアイスアリーナ (南部町)
閉 会 式	スピード競技	YSアリーナ八戸 (八戸市)
	フィギュア競技	盛運輸アリーナ (青森市)
	アイスホッケー競技	テクノルアイスパーク八戸 (八戸市)